

読む人の幸せを心に願って作る

喜びの夕なぎまき新聞

No.
658

〈徳を積む生き方〉

コロナ禍でしばらく会えていなかった友人と、先日久しぶりに会うことができました。いつもは趣味や健康の話題が多いのですが、この時は「同じ場面にいる時に、柔軟に対応できる人と、カッとなつてイライラする人の違いは何か？」という話題になりました。

私は「生まれてから今日までの、育った環境や受けてきた教育だ」と思っていると答えましたが、友人は「それも一理あるけど、それよりも徳を積んできたかどうかだ」と思う。そして、「多くの人は生まれ変わりを繰り返していて、その時々々に徳を積んでいる人の思考は柔軟で穏やか。しかし生まれ変わりではなく、初めて世に生を受けた人は徳を積んだ経験がないのでイライラするらしい」とのこと。それは私にも腑に落ちた答えでした。

自分自身がどのような人からの生まれ変わるか、また自分がどのような人に生まれ変わるかを知ることはありません。それでも今を生きている私たちは、「徳を積む」行動や考え方に変えることはできます。

人生では、楽しいことばかりでなく悲しいことや困難な出来事に遭遇することもあります。そんな時、「自分は不幸だ」と思うか、「この程度でよかった」と思えるか。どんな時でもプラス思考になることも「徳を積む生き方」につながると思います。

※イラストはイメージです



鳥取県

鳥取砂丘の星空

鳥取県は県内全域で天の川が見えやすく、流れ星を観測しやすいため「星取県」とも呼ばれています。

株式会社ダスキン会長

山村輝治



鳥取県の三大河川である千代川。全長50キロを超え、日本海まで続く



和気あいあいとしながら流しびなを作る「ときわ流しびなの会」の皆さん



古くなると変色するため、秋に刈り取られたばかりの藁を使用



旧暦3月3日には、晴れ着姿の子どもたちが無病息災を祈願して流しびなを千代川に流す



心を受け継ぐ
桃の節句の風物詩

用瀬の流しびな

平安文化の香り漂う
穢れを清めるひな人形

中国山地から日本海へと続く千代川の中流に位置する、鳥取県鳥取市用瀬町。この静かな山間の町では、毎年旧暦の3月3日になると「ひな流し」が行われます。さん俵に小さなひな人形が乗った「流しびな」が数百と水面を流れる様は、圧巻かつ風趣に富んだ情景です。

「ひな流しは、厄災を人形に移して川や海に流す行事から生まれた風習で、古くは源氏物語にも記述があります」と教えてくれたのは、「流しびなの館」の松本五郎さん。いつも10人ほどが集まる公民館には笑い声が絶えず、憩いの時間が流れています。

用瀬の流しびなは、さん俵と人形とで作り手が分かれていきます。さん俵とは、米俵の両端を塞ぐ丸いふた。藁をお湯で柔らかくして束ねた後、中心に円形の板を乗せ、花のように広げて編んでいきます。人形は、紙粘土を丸めて、乾いてきたら白塗り。男雛には冠を被せ、丁寧な顔を描いてから、紙の着物を着せていきます。「私の母も同じように作ってたんですよ」と松本みどりさんは、当時の写真を見ながら話してくれました。こうして作られた流しびなは、各家庭で飾られた後、旧暦のひな祭りの日に川へと流されます。一年間の厄災を流し、また次の一年を無病息災で暮らせますようにと願うのです。

町全体で祝う 子どもたちの成長

用瀬の春の風物詩と呼ばれるのが、一斉にひな流しをする「もちがせ流しびな行事」。晴れ着を着た子どもたちが、桃の小枝や椿の花を乗せて流しびなを流す姿は情緒的で、多くの観光客が見に訪れます。

ときわ流しびなの会では、地元小学校に赴いて流しびな作りを教えており、毎年、4、5年生が全校生徒の分を作って、皆で一緒に流しに行くのが伝統だそう。



全国的にも貴重な伝統文化として令和3年に「記録制作等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選ばれた

事務局長である田中倫明さん。「用瀬では母から子、子から孫へと各家庭で大切に受け継がれてきました。形式的ではなく、心が伝えられてきたからこそ、今日に残っているのだと思いますね」と田中さんは語ります。

また、この文化継承に「役買ったのが、「ときわ流しびなの会」の皆さんです。用瀬のひな流しを絶やしてはいけないと、昭和39年から流しびなを作り続けています。

「毎年10月ごろから春まで、週2回ほど集まり作っています。皆でお茶を飲みながら、楽しんでいきますよ」と話す、代表の



所蔵：流しびなの館
明治・大正時代の流しびな

また、この日は近所の子どもを招いてタニシ料理や干しカレー、巻き寿司などのご馳走を振る舞う「ひな荒らし」という風習があり、子どもたちにとってはうれしい一日。それぞれの家でも玄関口や座敷にひな人形を飾って披露するので、用瀬の町は桃の節句の華やかさに包まれます。子どもたちが幸せに、健やかに成長しますように。そんな思いを乗せて川を流れる、用瀬の流しびな。今も昔も変わらぬ温かな心が、美しい清流の町で受け継がれています。

用瀬の流しびなのふるさと
鳥取県鳥取市用瀬町

用瀬町は古くから都と因幡を結ぶ街道の要所であり、参勤交代をする大名らの宿場町として栄えました。貨物の集積地でもあったことから、米俵の両端に当てるふたの「さん俵」が手軽に手に入ったと考えられています。

台所の相談室

豆料理と言えば煮豆が代表的ですが、
つついワンパターンになりがちです。
それぞれの豆の特性や味を生かしながら
レパートリーを増やしてみませんか。

FILE 41

ゆでた大豆のホクホクとした食感、 優しい甘みがたまりません。

豆は、ゆでておくと何かと便利な食材です。時間のある時にまとめてゆで、小分けにして冷凍保存しておきましょう。

黒豆や小豆は、甘く煮るのがおススメです。大豆は、柔らかくなるまでゆでてから、ゆでただけの大豆、しょうゆ煮、甘辛煮を作り、食べきれない分はそれぞれ分けて冷凍します。ゆでただけの大豆は、そのままはもちろん、つぶしてポタージュスープにしたり、ペーストにしてもおいしい。サラダや炊き込みごはんの具にもなるので、ゆで豆があると重宝しますよ。

今回のレシピは、ひよこ豆のフムスです。フムスとは、中東の国々で日常的に食べられているペースト状の料理のこと。パンや肉、野菜などにつけて食べるディップのような食べ物です。

ひよこ豆は、インドや中南米などで栽培されており、別名はガル

バンゾー。ひよこの頭のような形をしていることから、その名がつけられたと言われています。

ゆでた時のホクホクとした食感、優しい甘みが特徴です。クセがないので食べやすく、サラダやカレー、スープ、コロッケなどさまざまな料理の具材として活用出来るので、ぜひお試しください。



ひだかずを
飛田和緒さん

料理家。1964年、東京都生まれ。独自のアイデアレシピが人気。新刊の『仕込んで、使って、一年中楽しめる みその本』(KADOKAWA)をはじめ、著書多数。



Answer Recipe

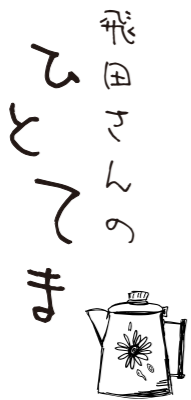
ひよこ豆のフムス

【材料(作りやすい分量)】

- ひよこ豆……………150g
- にんにく……………小ひとかけ
- オリーブオイル……………1/4カップくらい
- 塩……………小さじ1/4~1/3
- コリアンダー……………あれば少々
- パプリカパウダー……………あれば少々
- イタリアンパセリ……………適量
- 食パン……………適量

【作り方】

- 1 ひよこ豆はさっと洗って、たっぷりの水にひと晩つける。
- 2 そのまま鍋に移してゆでる。途中アクが出たら取り除き、ゆで汁が少なくなったら足して1時間ほどゆでる。
- 3 柔らかくなったら、ざるにあげて水気をきる。
- 4 オリーブオイルにつぶしたにんにくを合わせて弱火にかける。香ばしくなってきたらにんにくを取り出す。
- 5 ひよこ豆をフードプロセッサーやハンドミキサーにかけてペースト状にし、塩とコリアンダー、④のオリーブオイルを少しずつ足しながらかき混ぜる。好みの柔らかさになったら器に盛り付け、真ん中をくぼませて、オリーブオイル(分量外)をたらし、パプリカパウダーと刻んだイタリアンパセリを散らす。
- 6 こんがり焼いたトーストを添える。



ひよこ豆は、他の豆と比べてゆで時間が短いので、ぜひ乾燥豆からゆでてみてください。便利な水煮もありますが、しっかりと水に浸してからゆでると柔らかさが違います。
特に今回のレシピのようなペースト状にする場合は、ふんわり柔らかくゆでることでもめらかな仕上がりになります。豆の風味も、しっかりと引き立ちますよ。

台所のお悩み事をお寄せください。

お料理について気になることや、ちょっとした悩みを、飛田さんに相談してみませんか？
お便りをお待ちしています。
宛先は裏表紙をご覧ください。



今回のお悩み

私は煮豆が大好き！甘く煮る以外に「こんな食べ方もあるよ」という豆の料理方法が知りたいです。
(熊本県・女性)

黒豆や大豆はよく使うのですが、他の豆にも挑戦してみたいです。新しい豆料理を教えてください！
(愛知県・女性)



ほほえみのひろば



大好きなひな祭り

滋賀県東近江市 奥井つや子さん

私には、7歳になる男の子の孫がいます。いつの頃からか、おひな様が大好きになり、桃の節句が近づくと、我が家にあるおひな様を飾って欲しいとせがむようになりました。いつもは夫が孫と一緒に飾り付けているのですが、今年は孫が一人で挑戦。小物を並べたり、人形の手や首を動かしたりと、1時間ほど夢中になって飾り付けていました。

おひな様は、40年近く前に2人の娘のために買ったもの。人形たちも久しぶりに出してもらえて、喜んでいと思います。



ほほえましい光景！
毎年この季節が
楽しみになりますね。

農作業に励む毎日

香川県東かがわ市 吉田泰造さん

私は農業を営んでいます。88歳になった今も毎日必ず田畑へ出向き、お米や野菜に水や肥料をあげて、収穫しては大地の恵みをご馳走になっています。

農業には定年がありませんので、腰の曲がった私もマイペースに励んでいます。人の命を支える食を作っていると思えば、気持ちにも張りがあります。

命ある限り農業に精を出し、自然の力に感謝しながら、明るく、幸せに暮らしたいものです。



丹精込めて
育てられた作物たちは、
とびきりの
おいしさですよ。

スズメの家族

福岡県久留米市 石橋正弘さん

桃の節句から数日後のこと。屋前に自宅で妻とお茶を飲んでいたら、窓から8羽のスズメが電線に止まっているのが見えました。どうやら、仲の良い家族のようです。

一斉に庭へ降り立ち、皆で地面をついばんでいます。その姿がほほえましく、ほのぼのとした気持ちになりました。

時々、庭にみかんやりんごなどの果物を置いておくと、さまざまな鳥がやってきます。美しい鳥と庭に咲いた春の花を眺めることが、日々の楽しみです。



春の息吹を感じるお庭。
鳥たちにとっても
お気に入りですよ。

【燈々無尽】 朝が来た

朝が来た。

なやみ、苦しんで

いつ寝たとも思わなかったが

気がついてみると朝であった。

何と明るい朝である事か！

まるで昨夜のなやみも、

苦しみも夢のようだ。

人生には夜の苦しみもあれば

朝の輝きもあるのだ。

いたずらに、苦しみ、

もがくだけでなく朝を待とう。

ダスキン創業者 鈴木清一

飛び立つ白鳥

新潟県新潟市 朝倉志保子さん

冬の早朝、自宅近くの公園をウォーキングしながら、干潟に飛来した白鳥をめることが何よりの楽しみでした。

ところがある日、その白鳥たちが姿を消したのです。突然の別れに寂しさを感じながら家の周りを掃除していると、懐かしい鳴き声が聞こえてくるではありませんか。見上げると、群れをなした白鳥たちが頭上を越えて北へと飛んで行きました。きっと、挨拶をしに来てくれたのでしよう。うれしくて「いってらっしゃい」と大きく手を振って見送りました。



気持ちが通じた瞬間！
また次の冬も元気な姿に
会えますように。

ひな人形を飾ろう

三重県員弁郡 三林清美さん

毎年、立春を過ぎるとひな人形を飾ります。私の両親が娘のために用意してくれた七段飾りで、飾るのはもう25回目。今年も、東京で一人暮らしをしている娘の健康を願って飾り付けました。

六畳の和室が、半分くらい埋まるほど立派なひな人形。小さな小道具は一つも無くしていませんし、毎年、外の空気に触れさせて丁寧に扱っているので、人形も着物も美しいままです。

飾り付けが終わると、部屋がパッと明るくなり、春を感じることが出来ました。



東京で頑張っている
娘さんも喜んで
くれると思います。

次男からの贈り物

岐阜県岐阜市 水野美子さん

私には3人の息子がいます。長男と三男は同じ市内に住んでおり、たまに会ったり食事をしたりしていますが、次男は離れた地で暮らしているため、年に数回しか会えません。

先日、主人と「次男は元気にやっているかなあ」と話していたところ、なんと翌日、次男から宅配便が。もらい物だからと言って、主人には有名なお酒、私にはデコポンを送ってくれたのです！

思いが通じたのかと驚きましたが、元氣そうでホッと安心しました。



「両親のことを
気にかけてくれる
優しい息子さんですね。」

愛の輪通信

ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業
第36期個人研修生 高橋菜美子さん(肢体不自由)

「幸福の国」と呼ばれる
デンマークで学んできました



デンマークから帰国して、あつというまに5年が経ちました。デンマークが「幸福の国」と呼ばれる理由は、皆で支えあって生きていく社会の安心感が根底にあるような気がします。

私は現在、会社員として働きながら、海外の大学院に進学するために受験勉強に励んでいます。将来は社会学を学び、障がいのある人をはじめ、社会の中で生きづらさを感じる人々のために活動することが目標です。留学生活で得た経験は「May I help you?」の心を大切に、これからも前に進みたいと思います。



このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。 ☎06-6821-5270





読者の皆様からお送りいただいた
素敵な1枚をご紹介します。



実家の畑でみかんを収穫
岐阜県美濃加茂市 井戸 麻奈美さん



我が家の可愛い家族たち
福島県白河市 近藤 紀代美さん



姉妹で仲良くひな祭り♪
島根県雲南市 中林 みらいさん



かまくら大好き三兄弟!
長野県佐久市 箕輪 なつ江さん

ダスキン といっしょに始めよう!
エス ディー ジーズ
SDGs かるた

つ 使わない
オモチャや服は
いる人に♪

つ

解説
使わなくなった物やサイズが合わなくなった服も、誰かが必要としているかも。捨てずにリサイクルできたら素敵ですね。

あなたのお便りや写真をお寄せください

うれしかったことや、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。心よりお待ちしております。

◎送り先
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33
株式会社ダスキン広報部
「喜びのタネまき新聞」編集室
e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

◎お名前、ご年齢、ご職業、ご住所、お電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。
●ご紹介させていただいた原稿や写真には、ささやかなお礼品をお送り致します。
●作品は、必ずご紹介できるとは限りません。また、ご返却は致しかねますのでご了承ください。
●本号は、2022年12月に制作したものです。状況によって記載内容が変更となる場合がございます。

バックナンバーはこちらから!

No.419からのバックナンバーが下記のアドレスからご覧になれます。
<https://www.duskin.co.jp/tanemaki/>



引越しのおそうじにはダスキンモップが便利!

引越しのお手続きは
〈ダスキンコンタクトセンター〉
担当店・Webページ・0120-100100まで



株式会社 **ダスキン**
発行・編集：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】
お客様の個人情報はご投稿の掲載や、今後の紙面制作に利用させていただきます。なお、お預かりした個人情報はダスキングループと加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。
個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記の株式会社ダスキン コンタクトセンターまでご連絡ください。

0120-100100 www.duskin.co.jp